



又 會 所 感

一

日本労働組合総連合は、其の結成当初（一九二五年）より、昭和  
 三年迄には、ボルシェヴィキ主義等々、各種各様  
 の主義主張を持つる各組合が雜然として聯合してゐた。一是  
 が總連合の特色かの如き觀を呈してゐたが、昭和四年頃より、  
 行廉者連合は漸次統束融合し、其の宗調を合せ、本連合の  
 地域化と統制とを行ひ、行規中間派右翼としてその拡大強化に  
 努めたる結果、聯合体としての體系と偉容とを示すに到つた。